

議会だより かわら

2025.7.31
No.104

福岡県香春町議会



忘れられない 職場体験

7月2日(水)と3日(木)の二日間、香春思永館の8年生が職場体験に訪れました。P2・P3は生徒がタイトルやレイアウトを考えて作り上げました。生徒が体験した内容をまとめているので、ぜひご覧ください。

主な内容

6月定例会

- 忘れられない 職場体験…………… ②
- 補正予算 主な事業をチェック… ④
- 一般質問 10人が町政を問う…… ⑥
- 傍聴者の声…………… ⑪

職場体験

議長席に座ったよ

議場見学をしました。なかなか入れない場所に入らせてもらって、とても感動しました。議長席に座った感想は、とても全体が見えてすごかったです。



広報会議に参加！

広報会議に参加させてもらいました。最初は緊張したけど、みなさんが優しくしてくれて、とてもうれしかったです。



忘れられない

インタビューしました

香春岳の歴史は、奈良時代は銅を掘っていて、その銅は奈良の大仏にも使われているらしいです！昔はお城も建っていたらしい！



香春岳の山頂に



香春岳山頂の見どころは、景色がきれいで遠いところまで見えること！

職場体験の感想

おにつか ゆ う
鬼塚優結さん

職場体験の2日目は、産業振興課で職場体験をしていた2人と一緒に香春岳に登りました。めったに行けない香春岳に登れてとてもうれしかったです。いつも下から見ていて、どんな仕事をしているのだろうと思っていたのですが、実際に見ることができて、どんな仕事をしているのかがわかって勉強になりました。貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

広報委員の感想

初めてのことはばかりで緊張して疲れたと思いますが、インタビューや紙面づくりに一生懸命取り組む姿は素晴らしかったです。表紙と本ページのタイトルは生徒が考えた「忘れられない 職場体験」となっています。このタイトルを聞いたとき、受け入れた私たちは、うれしい気持ちになりました。今回の職場体験が将来の選択や目標に役立つことを願っています。これからもいろいろなことに挑戦し、自分らしく一步一步前へ進んでいってください。

期待

審議結果をCHECK



議会情報はこちらから

職場体験

補正

一般質問

委員会活動

傍聴者の声

令和7年度一般会計補正予算の概要

予算総額は歳入歳出それぞれ1億9,181万円を増額し、総額は81億919万円。
主な補正予算を、第5次香春町総合計画の3つの基本目標「暮らしを守る」「人を育む」「社会をつくる」に区分し紹介します。

6月定例

令和7年6月議会は、6月17日（火）から20日（金）までの4日間開催。議案7件は、すべて原案のとおり可決しました。

旧香春小学校グラウンドを にぎわい広場に

1,086万円

実施設計の変更等のため、設計委託料を増額。



令和9年春オープン予定

5月臨時会

校舎1階に整備する子育て 支援施設「かぱる」の工事に

契約金額 9,872万5千円



令和8年春オープン予定

目指せ金賞 香春思永館

509万円

経年劣化や不足している楽器を更新するため、吹奏楽部の楽器を購入。



引き継いできた楽器

各部活動を支援

41万円

部活動全体に必要な消耗品を購入。



練習に励むバレー部

企業誘致に

施設の維持補修に

1,056万円

体育センター正面にある陸屋根の防水工事費。

Q 建て替えの計画は。

A 建て替える計画はない。

Q 内部2階を活用する計画の進捗は。

A 運動器具設置など活用方法を検討中。



体育センター

跡地は企業誘致に

2,257万円

旧香春中学校の校舎・体育館等を令和8年度に解体するため、設計を委託。

Q 予算の算出方法は。

A 解体の算定基準に従い、産業廃棄物の処分量などを算出するために必要な技師の person 費やアスベスト調査費等を積み上げている。



解体予定の旧香春中学校

水道会計補正

水道の安定供給を

630万円

町営浦松団地跡地に、浦松配水池を新設するため、基本設計を委託。

Q 給水開始の目標年度は。

A 来年度に実施設計を行い、令和10年度の使用開始を目標にしている。



更新を進める浦松浄水場

お得な商品券を販売

250万円

プレミアム率20%の商品券、2500冊を令和7年8月4日に申込開始予定。2500冊のうち1000冊はデジタル商品券として販売予定。



デジタル商品券イメージ

詳しくは、産業振興課 (☎32-8406)

地域社会の希薄化でどうなる行政区

町長

行政区を基本として考えたい



藤井 清孝 議員

問 行政区の数と加入率は。

答 江藤総務課長

全部で43行政区。令和7年5月1日現在、65・36%。

問 昨年との比較は。

答 江藤総務課長

昨年度と比較すると、0・16%減。

問 行政区に入るメリットは。

答 江藤総務課長

災害が起きた時の助け合いが大事。自助共助が育ち、コ



配布物

ミュニティの大切さにもつながると思う。

問 行政区に加入するメリットを啓発しているか。

答 江藤総務課長

改編したチラシを転入時に配布している。さらに、行政区長の名前と連絡先も掲載している。

問 行政区における住民サービスが偏ることでの不公平感が発生している。地域活動費を助成する時期ではないか。

答 江藤総務課長

引き続き、区長会役員と一緒に検討したい。

問 ごみカレンダーを全戸配布する方向性は。

答 進税務住民課長

ごみ収集日が行政区ごとに異なるため、区長配付としている。

問 議員改選したが、香春町議会での地域課題に関する要望決議は継続している。今後、補正予算で対応するのか。

答 江藤総務課長

地元負担している防犯灯の電気代の件は、地域住民や区長の意見を聞き、新年度予算に反映すべきか協議したい。



防犯灯

答 進税務住民課長
ごみ箱の備品購入の件は、助成制度の創設に向けて準備している。

問 誰もが入りたいたいと思う行政区をつくれれば、持続可能なまちづくりにつながると思う。今後の地域コミュニティの方向性と、2期目に向けての町長の抱負は。

答 鶴我町長
行政区（隣組）を基本として、地域住民が参画することで、安心して住み続けられる町ができる。共助、公助とあわせて「ご近所」がつながるために、行政はどのような支援ができるかを確認しながら前に進めたい。



地域住民で環境整備

部活動の充実と支援強化は

学校教育課長
維持管理に予算付けて対応



やました たけし
山下 剛 議員

問 香春思永館の部活動の実施状況は。

答 加々見学校教育課長

運動部10、文化部3の合計13の部活動が行われている。部員数は170名で、後期生全体の61%が部活動に加入。

問 設備の整備状況と課題は何か。

答 加々見学校教育課長

開校時に整備しているが、不足している部分が出てきている。部活動のため、維持管理の予算が必要である。

問 部活動の成績は。

答 加々見学校教育課長

吹奏楽部は昨年度のコンクールで銀賞を受賞し、男子バレー部は県大会で3位になった。これらの成績は生徒と指導者の努力であり、部員数の増加にもつながっている。

問 各部活動のユニフォーム購入状況は。

答 加々見学校教育課長

開校時に一括購入され現在5年目なる。10年程度で更新する予定。



部活動の充実を

問 吹奏楽部の楽器購入費で509万の補正予算が付いたが、今後のサポートは。

答 岩奥教育長

大会の成績や香春町のイベント等の参加により部員数も増えている。

強豪校に育てていくことも視野に入れ、楽器の大切さも伝えていきたい。

答 鶴我町長

吹奏楽部の成績も重視したうえで、認知度向上を目指す。

香春町総合運動公園の
今後は

問 テニスコートの老朽化に対する対応は。

答 池本生涯学習課長

老朽化が深刻であり、改修が必要。ナイター設備のLED化も検討。



老朽化したテニスコート

問 今後の町民プールの維持管理は。

答 池本生涯学習課長

老朽化が進んでおり、補修費が増加。監視員の不足や気温の上昇による危険性もあり、施設の継続は厳しい。



老朽化が進む町民プール

真夏の電気代の高騰

問 当町での電気代高騰の影響は。

答 森江福祉課長

物価高騰や夏の猛暑は町民にとって深刻な問題となっていると認識している。しかし町単独で給付金を支給することは、財源の確保が困難。国の動向に注視し、財源が確保できれば進めたい。

職場体験

補正

一般質問

委員会活動

傍聴者の声

町外への交通支援を

町長 アンケート結果の検証が第一段階



ふくしま ひろゆき 議員
福島 浩之

問 町内には、医療機関が少なく町外への通院を余儀なくされている高齢者が多くいる。町外（田川方面）への移動支援に対する町の考えは。

答 鶴我町長

町内にある2つの病院をしっかり守っていくことが必要。町外への運行は慎重に考えていく。

問 新規に普通乗用車を購入し、町外の病院への通院専用（行きのみ）にすることは、可能か。

答 國安まちづくり課長
かわらくバスのアンケート

結果を公共交通会議で報告した後、継続して協議していく。

問 車を必要とする町民を対象に、民生委員などの協力を得て、町民の現状をもっと詳しく知るアンケートを実施することはできないか。

答 鶴我町長

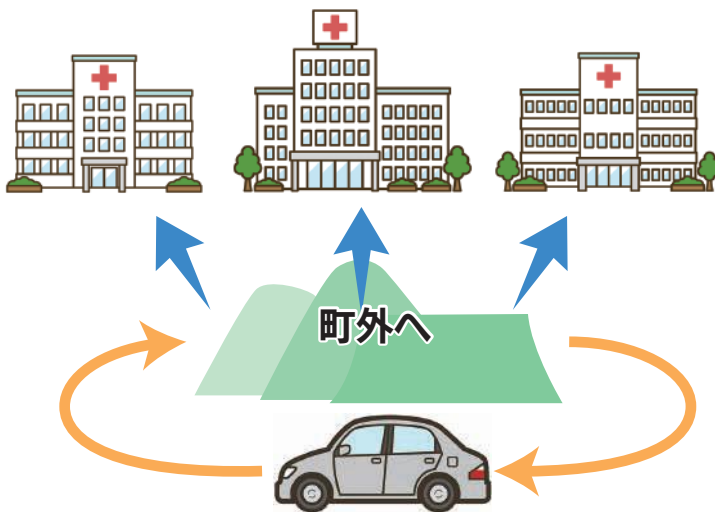
今年度実施したかわらくバスのアンケートと少し違う角度でのアンケートになるが、町民の意見をくみ取れるような方法や時期等を検討していきたい。

問 区長会や地域協議会と連携し、ライドシェアで移動を助ける仕組みなどを考えていないか。

答 國安まちづくり課長

ライドシェアと公共交通は根拠法令等も違うため、各行政区の考えも踏まえて、検討が必要。

【要望】 まちづくり課が推進している地域コミュニティ協議会の町内全体での立ち上げを一層後押しして、全協議会が、交通支援を強化して、町外への通院を支援できるようにご協力を要望します。



福島議員が提案する町外への運行イメージ



採 do 所コミュニティ協議会のみなクル号

ライドシェアとは

一般ドライバーが自家用車で乗客を有償で運ぶサービス。交通サービスの不足やタクシードライバーの人手不足の解決策として期待されている。

かわらくバスの利便性向上へ

まちづくり課長
今ある公共機関を持続可能に



ながまつ しんいち
永松 伸一 議員

地域交通は

問 町民の移動手段を増やすため、かわらくバスを田川市立病院と田川伊田駅まで運行しては。

答 國安まちづくり課長

通常10分で来るが、1時間待ちが頻発すると予測される。他の公共交通機関を乗り継いで移動や西鉄バスの沿線にある病院を周知するなどによって、持続可能なものにしていきたい。

問 タクシー料金を一部助成しては。

答 國安まちづくり課長

タクシー助成券の制度がある自治体は、かわらくバスの



かわらくバス

呉ダム周辺の
環境整備は

問 釣りや昆虫採取などのリアルな自然環境での体験は、ひきこもりの予防になる。

答 岩丸産業振興課長

渓流公園である呉ダムは、水生生物と触れ合う機会もあり螢も大変評判がいい。奥には登山道も整備しており、登山もできる。また、地元の協力により、紅葉、アジサイ、桜やサルスベリなどの植栽も

ような地域交通の代わりに、タクシーを利用した事業を実施している。当町では、かわらくバスの運行に年間約3,000万円支出しており、今ある公共交通を維持したい。

あるので、現状の施設を体験してほしい。



自然を生かした体験を

猿被害対策は

問 GPSを使ったアニマルマップによる情報収集の効果は。

答 岩丸産業振興課長

1群の猿にGPS装置を装着し、その群れの行動域を把握している。現在は、内部的な利用で、巡視員や行政職員が活用するほか、年1回開催している猿対策協議会で動向を報告している。今後、公表に向けて準備を進める。

その他 農林高校跡地の有効活用やマイナンバーの役場時間外窓口の開設について質問した。

水道料金の負担軽減を

住宅水道課長
約3160万円の財源が必要



しもむら 下村 かずこ 和子 議員

生活保護受給世帯に
支援を

問 夏の暑さの厳しい中、クーラーが故障し修理するお金がないため熱中症になる方など、困っている人が多くいる。町独自の支援はできないか。

答 鶴我町長

町独自で生活保護制度の枠を越えて支援することができない状況である。行政と議会が、一緒に県や国に要望していく方法しかない。

答 森江福祉課長

県が町村の生活保護事務を担当しており、町村は生活保護世帯に対する給付等を支給する権限はない。

国民健康保険の
均等割ゼロを

問 生まれた赤ちゃんから均等割を徴収するべきではない。未就学児は少子高齢化対策で均等割が半額になっているが、残りの半額は徴収される。0才から18才までの均等割を廃止できないか。

答 佐野保険健康課長

国民健康保険法等に基づき運営している。国の取り組みにより、0才から18才の均等割が廃止になれば、当町でも廃止できる。

問 国が動かないと町として動けないといつも回答される。予算がないと言われるが、財政調整基金の11億円を、今こそ子育て支援に使っては、

答 國安まちづくり課長

令和7年度予算は、財源不

足を補うために財政調整基金を3億3000万円取り崩して予算編成した。毎年、財政調整基金を取り崩さないと予算編成できない状況が続いている。

問 当町の水道料金は、福岡県下で何番目の順位か。

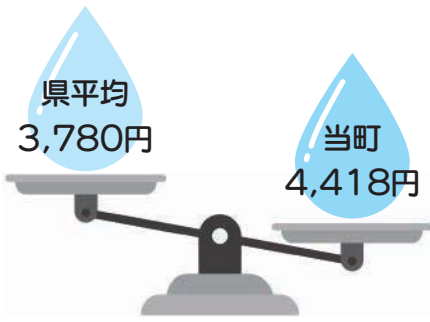
答 松本住宅水道課長

県下に47の水道供給団体があり、安い順番で、10㎡の料金が27番目、20㎡の料金が39番目となっている。

問 水道料金を引き下げてほしい。県平均水準まで引き下げるために、どのくらいの財源が必要か。

答 松本住宅水道課長

20㎡で、当町は4418円、県平均は3780円で、県平均まで引き下げるためには、約3160万円の財源が必要。



20㎡の水道料金平均額



子育てしやすい町に

なぜ町外に行かない、かわらくバス

まちづくり課長
他の公共交通機関を含めて検討



おおつほ まつお
大坪 松雄 議員

令和7年度
政策方針を問う

香春思永館は

問 土日運行はできないか。

答 國安まちづくり課長
事業者と協議しているが、
運転手不足で厳しい。

問 アンケート調査の結果、
75・2%以上が町外運行
を希望している。町外運行す
べきでは。

答 國安まちづくり課長
町外運行により公共交通機
関がなくなれば、企業誘致や
不動産価格などにも影響があ
る。他の公共交通機関を利用
している方も考え、総
合的に検討したい。

問 各公共交通会社と知恵を
出し合い、町外運行がで
きる方法はないのか。

答 國安まちづくり課長
町が赤字補填して運行して
いる公共交通機関もある。無
くなると困る方がいるので、
町外運行に踏み切れない。

問 9月議会で進捗状況を。

答 島ノ江副町長
地域公共交通会議でアンケ
ート結果を報告し、町外運行
の意見を聞き、検討する。

問 人を育む、誰一人取り残
さない学びとは。

答 加々見学校教育課長
支援が必要な児童生徒に対
し支援員を6名配置。不登校
児童生徒に対する支援で、登
校サポート教室の開設や不登
校児童支援員を1名配置。

問 町長の考えは。

答 鶴我町長
健やかでたくましい子ども
を育む町を目標とし、社会を
生き抜く力を育む取り組みと
して、キッズニア福岡への体
験学習を実施している。

問 不登校対策は。

答 加々見学校教育課長
学校に教育相談委員会を設
けている。学校の先生、専門
家、福祉課も入り、チームで
連携して対応していく。

問 実態に配慮した特色ある
教育を行う「学びの多様
化学校」の取り組みは。

答 岩奥教育長
田川地区8市町村で議論し、
不登校特別校の設置も視野に
入れながら、不登校対策を考
えていきたい。

問 スクールバス通学の児童
生徒もいるが、体力づく
り。

答 加々見学校教育課長
毎年のテスト結果を基に、

課題がある運動項目を体育授
業で行っている。休み時間を
利用して、マラソン大会に向
けての練習や縄跳びなどの体
力づくりもしている。



香春思永館

カスハラ対策は

問 カスタマーハラスメント
の現状や対策は。

答 江藤総務課長
人数や件数は把握していな
い。担当課で対応できない場
合は、総務課長で対応してい
る。今後、対応マニュアルを
完成させ、働きやすい職場環
境を進める。

後継者育成と基盤整備を

町長

地域と行政で一緒に取り組む



すずき おさむ 議員 鈴木 治

農業振興は

農業機械購入の助成事業はいつまで実施したか。

岩丸産業振興課長 平成25年度から平成30年度までの6年間実施した。

6年間の助成総額は。

岩丸産業振興課長 助成総額937万円、件数は14件である。

廃止になった理由は。

岩丸産業振興課長 集落共同の営農推進事業として推進したが、組織化や農地の集積が進まなかった。

助成金の復活をお願いしたいが。

鶴我町長 農業を守って行くため、大切な課題としてしっかり取り組んでいきたい。

有害鳥獣の対策内容は。

岩丸産業振興課長 猟友会の協力で、イノシシの捕獲や駆除を実施している。猿対策は、巡視員による周知活動・追い上げ対策等を実施している。また、エアガンを地区に貸与して追い上げ対策等を実施。



ワイヤーメッシュ柵で獣害対策

猿、イノシシ、鹿の数は。

岩丸産業振興課長 猿は70〜80頭前後で把握している。イノシシと鹿は把握出来ない。

令和6年度のイノシシの捕獲実績は。

岩丸産業振興課長 駆除員9名で、162頭捕獲した。

防止柵の設置状況は。

岩丸産業振興課長 現在の実施地区は25箇所、受益面積は64・58ヘクタール。

令和7年度の実施内容は。

岩丸産業振興課長 5地区で、受益面積は15・56ヘクタールの予定。

認定農業者の資格条件は。

岩丸産業振興課長 年間の農業所得が1人当たり370万円程度で、総労働時間が2000時間という基準がある。

認定農業者の数と役割は。

岩丸産業振興課長 個人農家が6名、営農組織が2団体で合わせて8経営体。農業経営、農業を引っ張っていた人材と考えている。

後継者確保や就農支援員による担い手育成に対する町の考えは。

岩丸産業振興課長 営農指導は、県の普及指導センター、JAの関係機関と連携して支援を行える体制をつくっている。集落説明会を通じて、新規就農者の掘り起こしも継続していきたい。

基盤整備の取り組みは。

鶴我町長 農業を次の世代に引き渡していくためには、基盤整備が必要である。地域と行政が一緒になって、取り組んでいきたい。

通学危険箇所の早期解消を

町長

町民へ危険箇所の周知を検討



村上 ひとし 議員

香春思永館の
通学対策は

問 当町は毎年、危険箇所の洗い出しを行い、国道322号御殿橋付近にガードパイプを設置するなど対策をしているが、現状は。

答 加々見学校教育課長

13箇所あったが対策が進み、対応が必要な箇所は4箇所となった。



ガードパイプ設置前



ガードパイプ設置後

問 通学路安全推進体制はどのようになっていくか。

答 加々見学校教育課長

地域の見守りボランティア87名、登下校時に校門前で見守りする通学ガード1名、教員OBで学校安全に関する知識を有するスクールガード・リーダー2名となっている。

問 登下校時に見守り隊員が事件・事故に遭遇した場合、どのような対処策を取るべきか、指導は行っているか。

答 加々見学校教育課長

現状では出来ていない。学校情報アプリを活用し、心構えや対処方法を周知したい。

問 「通学路の地域安全マップ」を全戸配布し、安全作りに取り組んでは。

答 鶴我町長

町民に周知するための手段として検討したい。

有害鳥獣対策は

問 私も狩猟許可を得て、前年の猟期にイノシシ4頭捕獲。町全体の捕獲頭数は。

答 岩丸産業振興課長

通年で駆除できる有害鳥獣駆除員（9名）による実績はイノシシ162頭、シカ65頭。駆除員以外の実績は把握していない。

問 有害鳥獣防止策の3要件は、①捕獲圧力、②被害防止対策、③生息環境の管理であり、この順番を替えてはならない。イノシシは一世代で1・2倍に、シカは2歳で

答 岩丸産業振興課長

公開しない理由はない。計画の見直しを考えており、精度を上げた計画を策定する。

その他、採銅所保育所などの今後について質問した。

してはどうか。

答 岩丸産業振興課長

地元猟友会と連携し、募集していきたい。

問 鳥獣被害防止特措法により各自自治体が被害防止計画を作成し、自ら実行できるようにになった。他自治体は作成した計画をネット上で公開しているが、当町はしていない。被害防止に対する熱量の違いを感じるが。

特化型の協力隊導入で課題解決を

町長

担当課と考えていきたい



みむら しんや 三村 信也 議員

鳥獣被害防止対策は

問 昨年12月の採銅所地域運営組織による鳥獣被害対策講演会へ参加した感想と、その後の対策は。



遭遇したイノシシ親子

答 岩丸産業振興課長

行政対策だけではなく、集落全体で知識を身に付け、獣のえさ場を作らないことが一番大事。R7年度から集落に出向き、地域住民と一緒に対策を考えていく。

タケノコの出荷先は

問 担い手不足や地元加工業者の撤退による出荷先不在で、今後荒廃竹林が増加。この状況をどうしていくのか。

答 鶴我町長

タケノコ出荷先不在の状況

特化型の協力隊は

問 地域おこし協力隊の導入実績は。

答 國安まちづくり課長

現在、延べ9名中8名が任期満了後に町内または隣接市町村に定住。R7年4月から1名が移住定住業務で活動中。

問 新たに1名の協力隊を導入した場合の財政負担は。

答 國安まちづくり課長

協力隊1名当たり最大550万円（人件費350万円、活動経費200万円）を上限に予算編成する。これらの経費は、国からの特別地方交付税で措置される。

問 鳥獣被害や荒廃竹林など地域が抱える課題解決のため、特化型の若手猟師型協力隊や里山保全型協力隊の導入しては。財政面での町の負担はない認識だが、見解は。

答 鶴我町長

大変有難い提案。担当課と考えていきたい。

中高部活動連携は

問 香春思永館と田川高校の部活動連携を推進しては。

答 岩奥教育長

現在、吹奏楽部が連携しており、陸上部・バレー部の連携も進めている。今後、部活動以外でも、前向きに進めていきたい。

メガソーラー規制は

問 各地でメガソーラー施設が多発しており、周辺自治体では、住民説明の義務を課す規制条例が制定されている。当町でも規制条例を制定する意向はあるか。

答 鶴我町長

近隣の事例を確認して、当町でも追究していきたい。



町外のメガソーラー施設

その他、学童クラブの運営について質問した。

町内への企業誘致は

町長

適地があれば現地を見たい



やまおか とおる 議員
山岡 徹

産業振興は

問 飯塚市に栗尾工業団地が完成した。当町もできないか。

答 國安まちづくり課長
旧香春中学校を売却した後、企業誘致を図っていく。

農業振興は

問 農業振興のため基盤整備が必要と思うが、町の方針は。また、補助はあるのか。

答 鶴我町長
農家がまとまり意思統一できれば、町としてしっかり進めたい。

問 農業経営を法人化するための支援は。

答 岩丸産業振興課長
町や県の普及指導センターで相談を受ける。法人化すれば保険や税金の問題が発生するため、十分に注意して相談に乗っていく。

問 当町で法人化は難しいか。

答 岩丸産業振興課長
約92%を占める兼業農家の法人化は厳しい。農家に集落営農による組織化を促していきたい。

害獣駆除は

問 猿・イノシシ・シカなどの駆除目標は470頭だが、達成できるのか。

答 岩丸産業振興課長
達成は厳しい。

問 害獣駆除の取り組みは。

答 岩丸産業振興課長
駆除員増加のため、地元との協力も仰ぎながら対応する。



継続的な対策を

地域交通は

問 アンケート調査は、どのような方法でしたのか。

答 國安まちづくり課長
車両に乗った人と各公共施設にアンケートコーナーを設置して調査をした。

問 もっといろいろな方に聞いた方が良いのでは。

答 國安まちづくり課長
まずは利用者に重点を置いて聞いた。

問 町外運行希望が75・2%。結論が出ているのでは。

答 國安まちづくり課長
運行形態が変わることで、待ち時間が長くなることや運賃増となることを踏まえて、総合的に判断する必要がある。

問 土日祝日運行希望が63・4%。どう考えるか。

答 國安まちづくり課長
希望が多いのは土曜日。今後、事業者と検討をしていく。

その他、ライドシェアについて質問した。

答 岩丸産業振興課長
町内の基盤整備率は、約51%。国や県の補助金はあるが、自己負担もあるため、集落の座談会などで意見を聞きながらやっていく。

解体後は企業誘致に



意見書

発議第4号

給食無償化に際し、質・量の確保を担保するための国による十分な予算措置を求める意見書

提出者 山下 剛 議員

賛成者 山岡 徹 議員

【要旨】

学校給食は子どもの成長に不可欠であることから、無償化の実現とあわせて、質と量の維持に必要な十分な予算措置を講じ、地産地消や有機食材の活用も推進し、自治体間の格差が生じないよう、国の積極的な支援を求める。

1. 給食無償化の実施にあたっては、物価高騰等の影響により給食の質や量が低下することのないよう、国による適切な制度設計と十分な予算措置を講じること。
2. 地産地消の推進、食育の充実、有機食材の使用拡大など、質の高い給食を安定的に提供できる体制を構築すること。
3. 長期欠席児童生徒や、学校外で学ぶ子どもたちにも給食無償化の恩恵が及ぶよう、柔軟かつ実効性のある支援制度を整備すること。

満場一致で可決

地方自治法の規定に基づき、意見書を国に提出しました。

厚生建設産業常任委員会

持続的な事業者支援で活性化を

6月25日（水）に香春町商工会と創業支援への取組状況などの意見交換を行いました。



経済や需要動向の分析を活かした商品開発ができないか

小規模事業者の経営戦略に踏み込んだ支援を実施していく

関係機関と連携し
様々なイベントを行う
ことで交流人口を
増やせないか

商工会

合同会社説明会の開催など、
人材確保に努めていきたい

議会

傍聴者の声

6月定例

本会議を傍聴していただきありがとうございます。
紙面の関係上、要旨のみの掲載となりますが、皆様からいただきました
意見や感想を紹介します。

よりよい町・町議会にしていくために、急いで定例会のネット配信をしてほしい。
若い人に興味をもってもらうきっかけや議会の質の向上など、たくさんのメリット
があると思います。(50代)

▶ 過去の傍聴者アンケートでも同様のご意見をいただき、本町議会の課題の一つと捉
えています。インターネットを活用した配信は、議会活性化の取り組みに関する貴
重なご意見として調査研究してまいります。

初めて傍聴させてもらいましたが、議会で生の声を聴き、広報誌を読むより、
町に対する関心がとても深まりました。(70代)

▶ 初めての傍聴及びアンケートの回答ありがとうございます。町が抱える課題に対し、
議会と執行部で、しっかりと取り組んでまいります。また傍聴しに来ていただける
ことをお待ちしております。

一般質問で、質問がわかりやすい議員がいました。(70代)

▶ 出来る限り町民に理解しやすい質問ができるよう、引き続き努力して参りたいと考
えております。

自分の関心がある質問・議事であれば今後も傍聴したい。
そのためには、前もって質問・議事が掲示されるとありがたい。(70代)

▶ 一般質問の質疑事項や議事日程はホームページで公表しており、傍聴を受付する机
でも配布しています。ただし、議員に配布している議案等の会議資料は配布してい
ませんので、傍聴者にわかりやすい議会となるよう調査研究してまいります。

傍聴者アンケート

●年齢は？

10代	0人
20代	0人
30代	0人
40代	1人
50代	1人
60代	1人
70代	8人
80代以上	2人
合計	13人

●傍聴回数は？

初めて	3人
2～4回目	5人
5回目以上	5人

●傍聴理由は？（複数回答可）

町議会や町政に関心がある	12件
関心がある議案が提出されている	6件
議員の質問内容に関心がある	9件
議員の応援のため	4件
知人、友人等に誘われた	2件
その他 ・町民として1回は傍聴し てみようと思いました。	1件

皆様からいただきましたアンケートは、全員協議会で情報共有し、
今後の改善の参考とさせていただきます。
引き続き傍聴に参加した皆様へアンケートを行いますので、ご協力を
お願いします。

香春町 初開催

国内外から約60名のスケーターが参加

7月6日（日）に香春町スケートパークでの初開催となった「AJSA2025九州アマチュアサーキット第2戦」でインタビューを実施。

Q 香春町スケートパークの施設環境は。

- とても練習しやすい。自分越えにとてもいい。
- メインのレールが高い。すべりやすい。
- 楽しくて練習になる。
- すべりやすく、すごくいいパーク。



Q 将来の夢はなんですか。

- オリンピック選手。
- アメリカに行って有名になって、お金持ちになる。
- オリンピックに出て、ユーチューバーで有名になる。
- プロスケーターになる。

インタビューのご協力
ありがとうございました。



防災を学ぶ

地域で助け合い・支え合い

7月6日（日）に勾金地域コミュニティ協議会主催で開催された「防災をたのしくまなぼう！！」でインタビューを実施。

Q 参加したきっかけは。

- 消防団の主人と一緒に参加。
- 防災に興味があったから。
- 知識が少ないので話を聞いたかった。
- 区長のすすめ。

Q 参加しての感想は。

- 非常食は固かった。
普段の食事のようにはいかない。
- 非常食は想像以上においしかった。
- 地域のことがわかり良かった。
- 子供達にAEDを見せることができ、
少し身近に感じれたかと思う。

インタビューのご協力
ありがとうございました。



次は9月議会 皆様の傍聴をお待ちしています！
第3回定例議会 9月9日(火)～22日(月)開催予定